

S M I L E

長崎市水泳連盟 競技役員新聞 6号 平成20年9月7日

7月26日(土)に開催された『汗流し会』(競技役員専門委員会主催)は、沢山の参加を頂き、おかげさまで大盛況となりました。毎年恒例の行事となり、役員相互の親睦に繋がっています。今度は年末の市水泳連盟忘年会です。昨年以上に盛り上がる企画を計画中です。

さて梅雨明けが早かったことも影響しているのか、ここ数日は朝夕も涼しく過ごしやすい日々です。とはいえ日中は30をこえる残暑…。夏のシーズンも終盤にさしかかっていますが、今月末の九州ジュニア成功に向けてもう一踏ん張りしなければなりません。ゲリラ豪雨に負けず頑張りましょう！

競技役員インタビュー Vol.6

プロフィールFILE



長崎の中体連を牽引してきたお二人の登場です。永年の教員生活を通じて、選手たちの成長を最前線で見つめ続けてきました。退職後もプールサイドから選手たちを暖かい目で応援し続けている松竹先生と岩永先生です！

松竹光一さん

昭和10年1月生まれ(昭和一桁最後の世代)です。幼い頃から海で泳ぐことが好きで、東高でも水泳部に入部しました。といっても海では着ることが中心で競泳が得意だったわけではなく、「練習してもタイムが上がらずに苦勞した」そうです。

高校卒業後は長崎大学でテニス部に入部、その後体育教師として各中学校の指導にあたりました。特に市民総合プールの新設頃から、本格的に中体連水泳専門部の活動がはじまり、中体連の組織作りに奔走しました。教頭・校長になり、水泳連盟の活動から一時離れましたが、退職後97年から再びプールサイドに戻ってきました。現職当時を振り返り、「着順審判が一番大変だったが、自動審判装置の登場で解決した」と、PT(機械操作)への強い思いから現在もその担当をしています。ゴルフが趣味のますます元気な松竹先生です。

岩永洋介さん

今年で59歳。「皆さんより先に自由になりました」と52歳の時に桜馬場中学校を最後に早期退職。現在は趣味の旅行や海・山遊びにと意外と忙しい日々を過ごしています。なんと一昨年はアマゾン川で泳いだそうです。

本格的に水泳の世界に入ったのは梅ヶ崎中学のころ。当時瓊浦高校が練習に来ていたので中尾先生の影響で専門委員になりました。新人戦の開催や、中体連の金土・二日間開催など、苦勞の連続でした。「炎天下苦勞して役員をしていただく先生方に豪華なお弁当を」との思いで、昼食選びは真剣かつ楽しみだったそうです。

競技役員インタビューでは自薦・他薦に関わらず取材を受け付けています！是非荒木まで!!

競技役員の配置に関して



他の役員も経験してみましょう！

4月当初に競技役員アンケートを実施しました。

集計結果では、泳法審判を中心に、永年役員をしている方々は様々な配置を経験しているのに対し、比較的新しく役員になられた方は、計時員・折り返し員に限定されていることが分かりました。また、今後やってみたい役員配置では、機械審判・パソコン操作・通告などに人気が集中しています。計時・折り返しのまますを希望する意見も多数ありました。一方で泳法審判・出発合図を希望する意見は少数でした。

そこで、今年度から長崎市水泳連盟の主催する大会においては、事務局・競技専門委員と協議し、できるだけ多くの配置を経験していただき、大会・競技役員のマナー化を防ぎ、役員の実質向上に努力して行きたいと考えています。早速、本日の競技会で初めて経験する役員配置の方もいますが、それぞれの主任を中心に、スムーズな大会運営にご協力ください。

大分国体の視察希望者を募集

平成26年の長崎国体に向けて、大分国体の研修視察希望者を募集します。日程は9月15日(月)早朝に集合・出発予定の日帰りです。参加定員は4～5名(乗用車1台分)、現地までの往復交通費・食事代等は市水泳連盟が負担します。新人戦・学童と大会が続きますが、長崎国体までに九州開催は大分が最後です。経験年数に関係なく、この機会に是非ご参加ください。参加をご希望の方は、理事長荒木まで。

(9月14日・学童大会当日までにご連絡ください)

競技役員講習会

昨年度、新規競技役員講習会を中学新人戦時に実施しました。今年度も、希望者の数がある程度揃うならば、県水連にお願いしたいと思います。本日中に理事長荒木が事務局次長の安達までお知らせください。

水夢がCDになりました！

競技会でおなじみの水夢がついにメジャー・リリース！スポーツ・ニュースや番組などでも使用されている水夢(表彰用メイン・ヴァージョン&決勝入場ヴァージョン)に新曲を加えたミニ・アルバム。日本水泳連盟キャラクター“ばちやば”がジャケット写真です！(税込み1,500円)

着うた(R) 着うたフル(R)はQRコードから



アイコンタクト

宮崎で行われた競技役員講習会での質疑応答の一コマ
「審判長との確認はアイコンタクトでと説明を受けましたが、宮崎は日差しが強いので、競技役員は全員サングラスをかけています。どうやってアイコンタクトをとれば良いんですか？」会場は大爆笑でした(笑)

【編集後記】 北京オリンピックが終了しました。北島選手の100m平泳ぎ世界新記録での金メダルは思い出すだけで鳥肌が立ちます。いつの日か長崎市出身の選手が、オリンピックの大舞台で活躍するのを楽しみにしています。もしかしたら原石はゴロゴロと転がっているのかも…。誰か磨き方を教えてくださいませ。(荒木)